

# VOLKSWAGEN

AKTIENGESELLSCHAFT

Presse | News | Prensa | Tisk | Imprensa | Prasa | Stampa | Pers |

新闻 | ecca

(和訳) ※原文(英語)は、6 ページ目以降をご参照ください

VPR17-019

2017 年 3 月 8 日(水)

## パーソナル モビリティを再定義: ボタンをタッチするだけで「自動運転」を実現

- 「Sedric(セドリック)」 フォルクスワーゲン グループ初のコンセプトカーは、ブランドを横断するアイデア プラットフォームとしての役割を担う
- 持続可能で安全なモビリティの革新的コンセプト
- 「自動運転」車両は、フォルクスワーゲン グループの未来戦略における中心的要素

2017 年 3 月 6 日 ウォルフスブルグ

フォルクスワーゲン グループ(以下: VW グループ))は、パーソナル モビリティを再定義します。フォルクスワーゲンは、道路交通における統合された未来のモビリティ コンセプトを提示する最初の自動車メーカーです。このコンセプトには「自動運転」を実現するためにゼロから開発されたコンセプトカーも含まれます。「Sedric (Self-driving car)」は、個人的なニーズや願望を満たしつつ、ボタンひとつの操作で簡単、持続可能で、快適かつ安全に誰もが利用できるパーソナルモビリティの革新的な形を具体的に示すものです。VW グループが発表するこの最初のコンセプトカーは、ブランドを横断するアイデア プラットフォームとしての役割を担っています。「Sedric」は、VW グループの未来戦略において、中心となる「完全自動運転」に焦点を当てたクルマです。

VW グループは、その傘下ブランドと共に、数多くの国々でパーソナル モビリティの「民主化」を実現してきました。またフォルクスワーゲンは、新しいモビリティ コンセプトにより、先進及び安全技術を全ての人々が利用できるようにしていきます。「Sedric」は、このモビリティ ソリューションの中核を担うコンセプトカーです。同時に、革新的な制御システムと連動することで、「自動運転」という概念に、まったく新しい意味合いを付け加えます。このクルマの操作は、ボタンひとつにタッチするだけです。そうすると、「Sedric」が自動的にやってきて、乗員を目的地まで快適かつ安全に連れていってくれます。

## 戦略

自動車の設計、開発、製造、マーケティングは、VW グループの未来戦略において引き続き、重要な役割を果たします。その一方で、スマート モビリティ ソリューションに関する部門もグループ およびその傘下のブランドが擁する新たな部門として同じ重要性を持って設立されます。モビリティ サービス プロバイダーである“Gett”への投資とモビリティサービス プロバイダー“MOIA”の設立は、このロードマップの重要なステップとなるものです。

VW グループ史上最大の改革プロセスは、未来のプログラム「Together - Strategy 2025」と共に開始されました。このグループ戦略は世界有数の自動車メーカーが、サステイナブル モビリティの世界的なリーディング プロバイダーへと変貌を遂げるための道を切り拓くものです。中核ビジネスの改革と新しいモビリティ ソリューション部門の設立は、未来の成長の基盤となります。

将来的に「完全自動運転」車両は、多くの人々にとって体験できるモビリティをより豊かなものにするでしょう。車両を集中的に使用することを基本とするモビリティ コンセプトは、車両に必要なスペースを減らし、エネルギー消費を抑えるとともに、より安全で持続可能になります。このコンセプトは、大人、子供、年配や身体の不自由な方々、クルマあるいは免許を持っていない都市生活者や、初めての訪問先で、即座に快適な方法で A 地点から B 地点へと移動したいと考えている旅行者などすべての人々の用途に合ったモビリティを提供することになるでしょう。

## グループにとって初のコンセプトカー

「Sedric」は、VW グループによる最初のコンセプトカーであると共に「レベル 5 の完全自動運転」を実現するために作られたグループ内で初めてのクルマでもあります。別の言い方をすれば、このクルマは、「ドライバー不要」であることです。「Sedric」は、ポツダムにある VW グループの「Future Center Europe(フューチャー センター ヨーロッパ)」とウォルフスブルグの VW グループ研究部門が協力して考案、設計、開発、製造されました。

「Sedric」は、VW グループによる「自動運転」のアイデア プラットフォームの先駆けとなるクルマです。同時に、新たな形態による数多くのパーソナル モビリティ コンセプトの「生みの親」となるクルマです。まもなく、グループ傘下の各ブランドから「Sedric」の「子供」または「孫」となるクルマが登場するでしょう。それらのクルマは、各ブランド独自のデザインで製作され、テーラーメイドされたお客様専用の装備を特徴とするでしょう。

## モビリティ体験

「Sedric」は、誰もが簡単に利用できるパーソナル モビリティのアイデアと、誰もが利用可能で直感的かつ容易に理解できる操作コンセプトを融合しています。その「ボタン」は、ユーザーと「Sedric」との接点、つまり、まったく新しいモビリティ体験への入口です。ボタンにタッチするだけで、誰もが、いつでも、どこからでも移動することができます。コントロール エLEMENTは、プッシュボタンおよびリングから構成されています。このリングは、「Sedric」の到着時間を色のシグナルで表示すると同時に、視覚に障害を持つ方々のためにバイブレーションによるシグナルも提供します。

### 家族の友人や仲間のような存在

この革新的なコントロール エLEMENTは、世界中で通用するユニバーサルなモビリティ ID として機能します。出張や旅行先では、自宅に居る時と同じように、ボタンを押すだけで、「Sedric」は、「自動運転」による共有モビリティビークルとして、ユーザーの元へやってきます。

「Sedric」は、共有モビリティ ビークルとして、VW グループのモビリティ サービス プロバイダーが擁するフリート車両の一部を構成します。その一方で、VW グループ ブランドの 1 モデルとして、「Sedric」を個人的に購入することもできます。フォルクスワーゲンは、多くの人々が、将来的にも個人的にクルマを所有したいと考えていると確信しています。なぜならば、この新しいクルマは、インテリジェントで、つねに利用可能で、個別の機能を搭載することができるからです。

「Sedric」は、子供たちを学校に送迎し、両親をオフィスまで連れて行き、自律で駐車スペースを探し、注文した品物を回収し、駅に到着した来客を出迎え、息子をスポーツから連れて帰ってきます。これらはすべて、ボタン操作、ボイスコントロール、またはスマートフォンアプリを使用して、完全に自動的、確実かつ安全に行うことができます。

### ユーザー体験

「Sedric」の開発目標は、モビリティシステム全体と同様に明確に定義されていました。それは、徹底的に無駄を排し、できるだけシンプルに、しかも、完全に直感的に操作できるというものでした。ボタンを押すだけで「Sedric」は、事前に指示した時間に正確に到着します。

「Sedric」はユーザーを認識して、両開きのドアを解放します。ドアの開口部は広く、そして高いため、荷物を持ったままでも簡単に乗り込むことができます。広々とした室内には、乗員のバッグやスーツケースを置く十分なスペースが用意されています。

### アシスタントとの会話

室内に乗り込むと乗員は、「Sedric」に話しかけることができます。乗員は目的地、そこへの行き方、

走行時間、現在の交通状況、あるいは途中での休憩といった内容について、あたかも個人的なアシスタントに話すように、「Sedric」に語りかけることができます。乗員は、走行中の時間を自由に活用できます。「Sedric」のフロントウィンドウは、コミュニケーションとエンターテインメント センターとして機能するオーグメンテッド リアリティ(拡張現実)による大型 OLED(有機 EL)ディスプレイとなっています。もちろん、乗員はシートに深く腰掛けて、目を閉じてリラックスすることも可能です。

## デザイン体験

「Sedric」を製作するために採用されたデザイン言語は、フレンドリーかつ人々の共感を呼ぶもので、一目見ただけで人々に安心感を与えるというものです。「Sedric」は、力強い流線形を描くサイドシェイプと安定感のあるルーフピラーにより、堅牢、安全で信頼できるクルマという印象を与えます。左右に開くドアは、ルーフ部分まで伸びています。大きなドア開口部により、乗客は快適かつ容易に乗り降りできます。

「Sedric」は、都市やその周辺部、あるいは郊外でも活躍することになるでしょう。その優れたボディコンセプトにより、コンパクトな車体と広い室内を実現しています。「Sedric」は、伝統的なクルマのプロポーシオンにとらわれることなく設計されているため、ボンネットやショルダーといった既存のエレメントを備えていません。

新しいエンジニアリング構造により、ひとつの大きな塊から削り出したようなボディが生み出されました。「Sedric」は、完全な電気自動車です。フラットなバッテリーパックは、前後のアクスル間に搭載され、コンパクトな電動モーターはホイールの高さに設置されています。エアコンディショナーや「自動運転」用の電子知能などのシステムは、コンパクトな前後オーバーハングに配置されています。

## 自宅に居るような快適性

既存のクルマとの決定的な違いは、室内に乗り込めばすぐに分かります。「Sedric」はドライバーを必要としません。ステアリングホイール、ペダル、コックピットなどありません。そのため、まるで自宅にいるような、まったく新しい寛ぎの世界が創出されています。

「Sedric」の室内は、厳選された素材による、快適なラウンジと表現できるでしょう。その一例は、広々としたシート生地に使用されているバーチレザーです。このレザーは、触り心地の良い自然素材です。

## 新しいインテリジェンスと新しい効率

インテリアの 2+2 デザインにより、車両のフロア面積を最大限に活用することが可能になりました。

2 座のリヤシートは、とても快適なソファとして機能します。巧みな設計により、優れた外気循環とエアコンディショナー システムを実現しています。

「Sedric」には、いわゆるグリーン テクノロジーが採用されています。リヤウインドーの前方に設置された空気清浄器は、竹炭を使用した大きなエアフィルターの効果を高めています。

大きなウインドーからは、外の景色が良く見えます。また、大型で高解像度の OLED スクリーンは、透明になっているため、スクリーンを通して車両前方を見ることもできます。

詳細は、[www.discover-SEDRIC.com](http://www.discover-SEDRIC.com) から入手可能です。

## **Individual mobility redefined: Autonomous driving at the touch of a button**

- Autonomous driving at the touch of a button
- Sedric – the first Concept Car of the Volkswagen Group and cross-brand ideas platform
- Innovative mobility concept for sustainable and safe mobility
- Autonomous vehicles as a key element of the future strategy for the Volkswagen Group

**Wolfsburg, 6 March 2017 – The Volkswagen Group redefines individual mobility. The company is the first automobile manufacturer to present an integrated mobility concept for mobility of the future in road traffic, including a Concept Car developed from scratch for autonomous driving. Sedric (self-driving car) provides a concrete insight into this innovative form of individual mobility that can be used by everyone, but which can nevertheless be geared to personal needs and aspirations – available at the touch of a button, easy, sustainable, convenient, and safe. The first Concept Car from the Volkswagen Group is a cross-brand ideas platform. The Volkswagen Group is using Sedric to highlight the major importance of fully automated driving in the future strategy of the company.**

The Volkswagen Group has always democratized individual mobility in many countries of the world with its brands. The company will also make advanced technology and safety available for all with its new mobility concept. The Concept Car Sedric is a central component of this mobility solution. In conjunction with its equally innovative control system, Sedric is giving entirely new meaning to the concept of autonomous driving. The touch of a button suffices. And the self-driving automobile comes along and takes its passengers conveniently and safely to their destination.

### **The strategy**

Design, development, production and marketing of automobiles continue to play a key role in the future strategy of the Volkswagen Group. Smart mobility solutions are being established with the same focus as another division of the Group and its brands. The investment in the mobility service provider Gett and establishment of the mobility service provider MOIA are important steps on this roadmap.

The biggest process of change in the history of the Volkswagen Group was launched with the future program “Together – Strategy 2025”. This Group strategy paves the way for one of the world’s best automobile manufacturers to become one of the leading global providers of sustainable mobility. The transformation of the core business and the new Mobility Solutions Divisions are the foundation for the growth of tomorrow.

In the future, fully automated vehicles will enrich the mobility experience of many people. A mobility concept based on intensively used vehicles will take up less space, will consume less energy, and will be safer and more sustainable at the same time. And the concept offers tailor-made mobility for everyone: adults and children, retirees and people with physical disabilities, city people who do not have their own car or a driving license, and visitors in a new city and suddenly decide they want to get from A to B in a convenient mobility setting.

### **The first Concept Car of the Group**

Sedric is the first Concept Car from the Volkswagen Group. And it is the first vehicle in the group to have been created for level 5 of autonomous driving – in other words a person as a human driver is no longer required. Sedric was devised, designed, developed and constructed in cooperation with the Future Center Europe of the Volkswagen Group in Potsdam and Volkswagen Group Research in Wolfsburg.

Sedric is the pioneer, the ideas platform for autonomous driving in the Volkswagen Group. And it is the “Father” of numerous concepts for a new form of individual mobility. Soon Sedric will also get “children” and “grandchildren” with the Group’s various brands. They will be created in typical designs for the brands and will feature tailor-made and customer-specific characteristics for equipment.

### **The mobility experience**

The idea of a simple form of individual mobility for everyone is linked to a universally usable vehicle and to an intuitive and easily understood control concept. The Button is the link between

the user and Sedric. It is the key to a completely new mobility experience. This is because a single touch of the button guarantees mobility for everyone, at any time, and at any location. The control element is made of a button to press and a ring which indicates Sedric's arrival time with colored signals and vibration signal that guides a person with impaired vision to the car.

### **A friend and companion for the family**

The innovative control element functions as a universal mobility ID operating worldwide. On business trips, or at a holiday resort – just like when they are at home – you just have to press a button and Sedric drives up as an autonomous shared mobility vehicle.

As a shared mobility vehicle Sedric is part of the fleet of the Volkswagen Group's mobility service provider. But Sedric can equally well be an individually configured owned vehicle of one of the Volkswagen Group's brands. Volkswagen is confident that many people will continue to want to own their own automobile in the future. After all, this new automobile is intelligent, it's always available and the car even carries out functions independently. Sedric will drive the children to school and then take their parents to the office, look independently for a parking space, collects shopping that has been ordered, picks up a visitor from the station and a son from sports training – all at the touch of a button, with voice control or with a smartphone app – fully automatically, reliably and safely.

### **The user experience**

The goals defined when developing Sedric were equally clearly defined as the entire mobility system: consistent reduction, very simple operation, completely intuitive handling. Just press the button – and Sedric comes along, precisely at the time indicated in advance. Sedric recognizes its user and the two-part door opens. The opening is wide and high, making it easy for passengers to get in even with luggage. There is plenty of room for bags and suitcases in the generously proportioned interior.

### **Talks like an assistant**

When a passenger gets into the car, they can talk to Sedric. Passengers can talk to Sedric about the destination, how to get there, the driving time, the current traffic situation, perhaps even a short break on the way – users can talk to Sedric like they would with a personal assistant. While you are on the road, you can choose exactly what you want to do. The windscreen is a big OLED screen with augmented reality serves as a communication and entertainment center – but passengers can also close their eyes, sit back and relax.

### **The design experience**

The language of design used to create Sedric is friendly and empathetic, and immediately generates spontaneous trust. Sedric conveys a robust character, safety and reliability within its muscular flanks and stable roof pillars. The two-part swing door extends up into the roof. The large opening allows passengers to enter and alight from the vehicle comfortably and with ease. Sedric is a vehicle which will be moving around in cityscapes, in the suburbs and in the countryside. Its body concept offers compact dimensions with the opportunity to have a generously proportioned interior. Sedric has been designed without the classic proportions of an automobile and lacks elements like bonnet or shoulders.

The new engineering structure has made this monolithic, basic body possible. Sedric is a thoroughbred electric automobile. Its battery pack is flat and has been configured between the axles, and the compact electric motor is located at the level of the wheels. Systems like air-conditioning or the electronic intelligence of the self-driving system are positioned in the compact overhangs at the front and rear.

### **The welcome home feeling**

The key difference to all other present-day automobiles is immediately tangible in the interior. Sedric does not have a driver. The steering wheel, pedals and cockpit are therefore superfluous. This permits a completely new sense of wellbeing in the vehicle – a welcome home feeling. Sedric is a comfortable lounge on wheels, equipped with carefully selected materials. One

example of this is the birch leather used to upholster large surfaces. It is a haptic, natural material pleasant to the touch.

### **New intelligence and new efficiency**

The 2+2 person design of the interior makes optimum use of the floor area of the vehicle. The two rear seats act as a very comfortable couch. Fresh air to breathe and a good air-conditioning system are ensured in a particularly ingenious design. Sedic really does have green technology on board: air-purifying plants positioned in front of the rear windscreen enhance the effect of generously dimensioned bamboo charcoal air filters.

Large window surfaces create contact with the outside world and even the large, high-resolution OLED screen is transparent and allows passengers to look out at the front.

Further information see under: [www.discover-SEDRIC.com](http://www.discover-SEDRIC.com)

